

令和5年度第1回栗橋公民館運営審議会開催結果

日時：令和5年5月25日（木）11時00分～12時05分

場所：橋野ふれあいセンター会議室

出席者：審議会委員(5名出席)

遠野健一委員長、川崎悦三郎副委員長、八木澤江利子委員、八幡和郎委員、八幡裕子委員
(欠席委員2名：遠藤朱実委員、川崎通委員)

事務局 まちづくり課 佐藤課長、小池主査

栗橋公民館 二本松公民館長、三浦主査

二本松館長が栗橋公民館運営審議会の開会を宣言。委員7人中5人が出席しているため同審議会が成立していることを報告。

遠野健一委員長が議長となり会を進行した。

令和5年度釜石市立栗橋公民館運営計画について案のとおり承認された。

【 主な発言等 】

遠野議長

只今、事務局から資料の説明がありましたので、協議に入りたいと思います。

ソバ打ち体験事業のところで説明のあった、横浜市から来て頂いて、栗橋地域の活性化のために頑張っているという□□さんは元気でやっていますか？

二本松館長

今は、青ノ木の方に住んで、畑を作ったりなどしながら頑張っています。

遠野議長

すごいですね、ありがたいですね。畑仕事を出来ている？

二本松館長

農業委員もやっている方が青ノ木にいらっしゃいまして、その方達が手ほどきしながらやっているようです。

川崎委員

栗林小のどんぐり植樹は、かなり前から継続して実施していますが、今、苗はどうしていますか？

八木澤委員（栗林小学校校長）

苗は、60本程度を購入しています。

二本松館長

苗代として、まちづくり会議の予算に計上して、森林組合から購入しています。

川崎委員

以前はドングリを拾って、自分たちで種から育てていました。

遠野議長

この植樹も、作業がなかなか大変ですよ。

八木澤委員

大変でした。ゴールデンウィークの最終日曜日に父兄と下草刈をする予定でしたが、雨で出来なかったため、次の週の日曜日に学校職員とPTAの15名で、下草刈と植える箇所の手掘りを行ないました。なお、残念ながら、昨年度に植えたドングリの苗が、シカ被害なのか、雪のせいなのか、原因は分かりませんが、育ちが悪かったので、来年度の植樹場所は、昨年度に植えた場所の植え直しをする予定になっています。

川崎委員

生育が難しいのは昔からのようです。自然環境が厳しいので、苗が死んだりして、なかなかうまく育たないようです。

遠野議長

床つけ作業も大変ですよ。

八木澤委員

そうです。それでも、今年植えるところは、雨が降ったせいなのか、父兄の方々は、昨年よりは簡単に掘れたと仰っていました。ただ、子供たちが植樹する日は平日で、参加できる保護者の方は少なく、昨年度も栗橋公民館の職員が来て下さってすごく助かったので、今年度の植樹の際も宜しくお願ひしたいと思っています。

二本松館長

栗橋地域まちづくり議長から、学校の活動を支援したいという観点で、予算面では大丈夫なので、もっと大規模に植樹したらどうか、との提案を受けました。ただ、60本を植えるだけでも大変なので、と一旦お断りしました。そうしたら、例えば、業者を使っても良いからとのご提案がありましたことを報告します。

川崎委員

子供たちにとっては、自分たちが植えた苗が、どのように育っていくかが、楽しみですよね。

遠野議長

環境保全教育の活動ですから、大人はあまり出過ぎてもいけないかも。

二本松館長

作業は、大人が関わらないと大変です。

八木澤委員

本当に大変です。昨年度、60本を植えるのに、中学年以上の子供たちで、水撒きも何回も山を行ったり来たりで、大変だなと感じました。

遠野議長

60本の規模で精一杯ですね。

八幡和郎委員

今、栗林小学校の全校生徒は何人くらい居るのですか？

八木澤委員

今年度は全員で31名ですけれども、和山植樹へ行くのは3年生以上です。

八幡和郎委員

私もPTA時代に植樹に関わったのですが、その頃は、自分の植えた苗のところに自分の名前を書いた名札を付けて、次に行った時に、それを見せて、これくらい大きくなったんだよと、やっていました。

八木澤委員

なるほど、そうなのですね。

川崎委員

もし、見に行ったら自分が植えた苗が死んでいたら、ガッカリですね。

八幡和郎委員

子供が大きくなって、あの時あそこに植えたんだな、と想いを馳せながら現地を見に行くこともあるので、良い教育だな、と思っていました。

遠野議長

下準備はみんなでやって、植える作業は子供たちでやるようにしないと、大変そうですね。安全に気を

つけながら行って下さい。

八幡和郎委員

今、熊があちこちから出ているので、みんなで離れないように集団で行動するよう注意して下さい。

遠野議長

他にありませんか？

川崎委員

音楽コンサートの団体は、どういう団体ですか？

二本松館長

公益財団法人音楽の力による復興センターという団体で、拠点は仙台にあり、震災後いろいろな避難所等を慰問して、歌やピアノを披露してきた団体です。この団体は県からも補助金を頂いて活動しているようです。一昨年度までは、栗橋地区では活動していませんでした。

川崎委員

費用はどうなっているのですか？

二本松館長

無料です。

佐藤課長

ももとは「被災地」というのが出発点でしたので、復興公営住宅等があるところだけ対象にしていたのですが、いろいろな要望があって、それに対応する事業計画の形になっていって、最近では内陸部でも活動するようになりました。ですので、最初の頃は、栗橋地区は対象になっていませんでした。

川崎委員

今は、被災者の居住地も分散してきましたし。

佐藤課長

コンサートは素晴らしい内容で、だいたい年2回開催しているのですが、1回目を聴いた人はリピーターとなり、2回目も友達を連れてまた聴きに来てくれることが多いです。また、リクエストがあれば可能な範囲でそれにお応えしてくれまして、例えば浜の地域だと演歌系の歌をやったりとか。

八幡和郎委員

みんなが知っている歌をやってくれるのですね。

佐藤課長

そうです。あと、体操を一緒にしながら歌ったりとか、住民参加型でやるので、とても評判が良いです。

八木澤委員

昨年の夏に橋野で開催したコンサートには私も来させて頂きました。今、まちづくり課長さんがおっしゃったように、その年代の方達に合わせて、体操したり、口ずさんだりして、すごく良いコンサートだと思いました。その後、年を明けて1月に、今度は TETTO 会場で各小学校を呼んで頂き鑑賞したのですが、歌声はすばらしかったですし、何より45分間で納めて頂いたのが良かったです。

佐藤課長

スケジュール時間をきちんと決めて活動しています。例えば、午前中は平田で演奏して、午後は中妻で演奏するとか、すばらしい活動をしています。

遠野議長

栗橋地区は市街中心地から遠いですし、高齢者が多いですから、コンサートや映画鑑賞会は貴重だと思います。住民も喜んでいる人が多いと思いますので、PRの仕方を工夫して頂ければと思います。映画鑑賞会について今回はプロジェクターを使うことを検討して頂ければいいなと思っていました。

佐藤課長

先程、手話の事業計画のお話がありましたけれども、先日、聾啞者の映画を観てきました。感動する映画でした。山村地区に生まれた聾啞者が街に出て行って、帰ってきて、地域おこし協力隊として活動するのでけれども、最初はなかなか受け入れられなくて、役所からも採用できないよとか、いろんなジレンマを抱えながら、最後は地元住民にも受け入れられていく、という内容で、映画の街並みも、なんとなく栗橋の風景に似ている感動的な映画でした。

二本松館長

なんというタイトルの映画ですか？

佐藤課長

手話講座の講師に聞いてもらえれば分かると思います。

「山裾に抱かれて」ではありませんでした。

八幡和郎委員

そういうのは良いですよ。

佐藤課長

その映画を見た後だと、よけい手話の必要性の認識も高まるかも知れないと思い付き、ご紹介いたしました。少し検討してみてはと思います。

遠野議長

ありがとうございました。

あと、一つ気になったのは、今年度から保健師さんが栗橋地区生活応援センターの常勤ではなくなって、健康相談が定期開催ではなく、「随時」ということになったようなのですけれども、これは問題ないですか？

二本松館長

今年度になって、まだ2ヶ月しか経っていませんので、まだ何とも言えませんが、以前はすぐに対応できていたものが、すぐには対応できなくなった、ということはありません。

遠野議長

地元住民から相談があれば、すぐに対応できますか？

二本松館長

保健師は一週間の内の四日間は鶴住居地区生活応援センターで勤務しており、鶴住居を中心に活動しているのですが、そういう状況で栗橋地区の住民から「今から相談したい」と言われても、すぐの対応は難しいかと思えます。

遠野議長

マイナス面はない、と理解しても良いですか？

八幡和郎委員

それは、どうなのでしょうかね。栗橋はますます高齢化も進んできていますし、年寄りが多くなってきている中に、こういう体制になってしまうと、地域住民からすると、なんか考えてくれないかな、と思いますけれども。

二本松館長

先日、横内で開催した市長と話す会の際に、市長からは、生活応援センターが市内8ヶ所にあるのは珍しいことすばらしいこと、各生活応援センターに保健師を配置していることで住民の不安を解消しています、という旨の話をしました。しかし、栗橋地区生活応援センターには常時配置していない、ということで、横内の住民からも「栗橋には常勤の保健師がいなくなった」という旨の発言があったのですが、その住民は1度にいろんな項目の発言をしましたので、市長の回答の中には保健師の部分については言及がありませんでした。

遠野議長

栗橋地区は山奥にあります。反面、鶴住居には個人医院もあります。まあ、その辺は考え次第ではありますが。

二本松館長

住民からのいろいろな声はこれからも引き続き聞いていきたいと思っています。

八幡和郎委員

今後も取り上げてもらいたいです。

遠野議長

次に進みたいと思います。

川崎委員

干し柿づくり事業には参加希望者がいなかったという説明がありましたが、栗橋の場合は、干し柿づくりの時期は、ちょうど自分の家の干し柿を作らないとならないので忙しいのです。ですので、干し柿づくりはニーズがあまり無いように思いますが、むしろ、布草履づくりは、足裏の刺激で健康づくりにもなるし、そういう事業をやると何人かは参加するのではないのでしょうか。

二本松館長

実は、去年、布草履づくり事業を検討して、講師になりそうな地元住民の方へ打診しました。ただ、高齢な方でして、お断わりされました。

川崎委員

そうでしたか。砂子畑の□□□□さんも講師を出来るはずです。昔、つくった布草履をどんぐりの産直で売っていたこともあったはずです。

二本松館長

情報ありがとうございます。

佐藤課長

去年、西地区の甲子・小佐野・中妻の三つの公民館が合同で、干し柿づくりを実施しました。街方の住民だと、干し柿づくりは珍しいので、50人位の参加申し込みがありました。甲子柿をつくっている組合女性部の方に講師として来てもらい、地域間の住民同士の交流にも繋がりました。しかし、栗橋の場合、普段、自分の家でやっているようなことになるので、なかなかそうなると、西地区でやっているような人達とはまた違う感覚なのだろうと感じました。

八幡和郎委員

おそらく、栗橋公民館でも、そういう風にみんなと交流するということを狙って企画したのだと思いますが、栗橋ではニーズは無いかも知れません。

佐藤課長

それぞれの地区の地域性もあると思います。

川崎委員

昔、栗林小学校のPTAでも、草履づくりをやっていました。

八幡和郎委員

草履づくりは良い案だと思います。

二本松館長

今年度は、講師として□□□□さんに相談してみます。情報ありがとうございます。

遠野議長

他にございますか？

佐藤課長

もし、研修等で釜石市外へ出掛けて行く事業がある場合は、釜石市に関わりのあるところに行って頂ければと考えています。例えば市外の博物館へ行く場合、その博物館に釜石市からの物がそこに展示されているとか、釜石市に関係ある人が何かを起こしたとか、そういうふうに釜石市との関係性があるところに行って頂ければと思います。

遠野議長

平日開催の事業が多いでしょうから、そうすると高齢者の人たちが多くなると思いますので、遠くではなく、近くの釜石市鉄の歴史館へ行くような感じになるのではないのでしょうか。

佐藤課長

市外へ行くこと自体が駄目ではないのですが、釜石市と関わりのあるような場所を選定して頂ければと思います。

地元再発見という趣旨で、まずは地元の知らなかったところとか、そういうところを回ってもらう形で実施して頂いても良いと思います。

遠野議長

分かりました。視察研修事業は、コロナの影響でずっと休止していた事業なので、ご検討をお願いしたいと思います。

次に進みます。

出前講座の事業計画ですが、これは今年度、既に実施した心肺蘇生法研修会とは別事業ですか？この心肺蘇生法の研修会は大事だと思います。住民の参加状況はどうでしたか？

二本松館長

もともと住民からの声があって実施した事業ということもあり、参加状況は良かったです。ただ、AEDの設置場所が、栗橋には生活応援センターと栗林小学校にしか設置されていないことが分かりました。栗小校長先生にお聞きしますが、栗小のどこに設置しているのでしょうか？研修会の際に、消防署職員から、壊して入っても良いと言われたのですが。

八木澤委員

体育館の入口と、職員玄関の入口にあります。私にも消防士の方から、説明会で壊しても良いと言ったものの大丈夫だったのでしょうか、というご確認を頂きました。学校施設のセキュリティーとしては、職員玄関入口ドア部分については割っても非常ベルは鳴らないですし、いざという時は人命の方が優先ですので、非常事態の時はそのように対応しても大丈夫とお答え致しました。

川崎委員

AED 機器を設置していても使えない状況なのでは、無いのと同じですよ。

二本松館長

栗橋地区生活応援センター事務室にある AED は、まちづくり課の予算で購入したもので、外に置いていいものなのか、現在、まちづくり課に相談しているところです。

佐藤課長

設置場所については、各々の施設に任せています。運動中など、外で倒れるケースも多いので、設置場所は柔軟に対応して頂いて結構です。ただ、AED は意外と高額で、また、数年毎にバッテリーの更新も必要です。外で風雨に晒される状況での設置ではなく、囲いのようなものを設けて管理することが適切だと思います。

川崎委員

AED を取りに行っている間に、20 分以上掛かってしまいます。むしろ、AED よりも、心臓マッサージをしっかりと教わる方が良いのかも知れません。

二本松館長

AED があっても使えないのであれば、宝の持ちぐされになるので、何かの時には活用できるように、というふうに考えています。

佐藤課長

できれば心肺蘇生の研修会は継続して行った方が良いと思います。一年もすると忘れてしまいますので。

遠野議長

やっぱり心臓マッサージが一番大事だと思います。AED も大事だと思いますが、設置場所まで取りに行くのに時間が掛かりますから。

佐藤課長

併用が良いと思います。

川崎委員

心臓マッサージは力加減が難しいですよ。でも、肋骨が折れてもやったほうが良いと言いますよね。

八幡和郎委員

そう言いますよね。研修会では AED と心臓マッサージをセットで教えてもらうことが良いですよ。

遠野議長

他にありませんか？

八木澤委員

ふるさと再発見地域学習会は、昨年度、栗橋公民館さんにご支援して頂きながら開催致しました。コロナ禍でずっと休止していた事業で久しぶりの開催でしたが、やっぱり、やって良かったな、と思いました。自分たちの地域のことを、子供も含め、学ぶということは大事だと改めて思いました。ただ、行き先が、ハイキング程度かなと思って歩いて行ったら結構な距離だったので、想定外でしたが良い運動にもなりました。今年度も実施したいと考えており、近くなったら栗橋公民館さんへご相談したいと思っていました。

また、餅つき大会もコロナ禍でずっと休止していましたが、例年、夏休みはイカダ遊び、冬季は餅つき大会をするというのが恒例行事だったようですが、このような恒例行事を分かっている保護者もだんだん卒業していきますので、今年度は復活させて保護者さんたちの間で恒例行事をつなぐようにしたいと考えています。

遠野議長

その他ありませんか？

昨年度開催したスマホ教室にはあまり参加者が来なかったようですね。

川崎委員

私は昨年度参加しましたが、内容としては物足りなく感じました。スマホ機種によっては違うとか、市役所の立場としては何とも言えないとか、奥歯にものが挟まったような説明しか出来なかった感じでした。年を取ってからスマホを持つと怖くて何も出来ないの、基本的にこういうことは気を付けましょうとか、そういう内容の話から入った方が良かったのかな、という気がしました。前回のスマホ教室でやったことといえば、釜石市役所と LINE をつないでだけで、それで終わりという印象でした。

二本松館長

それでは、内容は検討しながら対応したいと思います。

遠野議長

次に進みます。

自主活動グループ等の支援については、100歳体操の団体を中心に、活動クラブがだいぶ増えてきました。コロナの影響で休眠している団体もありますけれども、また復活して活動するようになれば良いですね。

佐藤課長

栗橋の休眠している団体の中で、解散しそうな団体もありますか？他地区の例では、コロナを機になくなった団体もあります。この資料に記載されている九つの団体は、今も動いている団体ですか？

二本松館長

全部が活動している訳ではないです。やはりコロナをきっかけに休んでいる団体もあります。

川崎委員

ちなみに、私が所属している団体は、代表者が老人施設で働いていますので、特にもコロナを非常に警戒しています。今まで活動を休止していましたが、近々、活動を再開する予定になっています。

また、地元広報誌の「みどり通信」での事業案内について要望があります。講師がいらっしゃる事業の場合には、講師は誰それだと記載してもらえると、参加を検討する際にこの講師だったら行きたいとか非常に重要な情報になりますので、宜しくお願いします。

佐藤課長

先程、栗橋公民館長から、地元広報誌の発行日を、現在の毎月15日発行から1日発行へ変更することを検討中との説明がありました。他の生活応援センターでは、ほとんどが1日発行です。例えば、市役所から記事を掲載して欲しいと依頼が来るときにも、時期が1日号に合わせたスケジュールでの依頼が多いたのですが、そういう事情もありますので、宜しくお願いします。

遠野議長

以上で一通りの協議については終わりました。他に何かありますか？

川崎委員

今回ある程度の事業計画をつくったとしても、特に栗橋地区では、どうやったら地域住民が事業へ参加するか苦慮していると思います。例えばですが、地域住民がどういうことを望んでいるのか把握するために、アンケート調査を実施したことが今までにあったでしょうか？

二本松所長

私が栗橋にやってきた去年度に限れば無いです。

遠野議長

私は長い間、公民館運営審議委員をやっていますけれども、無かったように思います。

川崎委員

アンケートが実際にどのくらい回収されるかという問題もありますが、それはそれとして、アンケート調査をしてみても良いのかなと思いました。

遠野委員長

今後、ご検討をお願いします。

最後にまちづくり課長さんから何かございませんか？

佐藤課長

活発な意見が自主的に出ましたので、私からはありません。他地区の公民館では、こちらから指名させて頂いたり、個別に意見を求めれば、お話を始めるところが多いです。このように自主的に意見がポンポンと出ることは素晴らしいことだと思いますし、今後もより良い活動へ持っていきますように宜しくお願いします。

遠野議長

ありがとうございました。

以上で協議を終了したいと思います。

二本松館長

以上をもちまして令和5年度第1回栗橋公民館運営審議会を閉会いたします。

ありがとうございました。